

ちびっこ チャンピオン

「みんな なかよし」

銀杏保育園のなかよしたち

(左から)

こばやし さ らさん(5さい)
 やまざき は なさん(5さい)
 ふくだ れ くん(5さい)
 おの ゆい かしさん(6さい)



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

深浦町の花



■福寿草■

深浦町の木



■榎■

深浦町の鳥



■カモメ■

草創教育長の「4月の一枚」

お山自慢

残雪を頂いた春先の岩木山が好きで、毎年方々に出かけては絵にしています。数えたら十枚以上ありました。なぜ山をかくの？そこに山があるから(笑)。残雪の岩木山は、ヘタクソがかいても絵になります。

三枚だけ紹介します。



最後はわが町。千畳敷方面から見たと、海の向こうに浮かんで威風堂々としたたざまいです。弘前はちょうど



一枚目は弘前城本丸からの有名な構図。眼下に満開の桜。弘前で三年間を過ごした太宰治は、小説「津軽」に「岩木山はやはり弘前のものかも知れない」と、かなり弘前びいきに書いています。

次は、五所川原の土手から。私の友人は、「五所川原の岩木山は二等辺三角形。これほど端正な形は他からは見えない」といびります。



裏側なので、シルエットも正対です。太宰も岩木山を「美人」にたとえましたが、五所川原はすましたクールビューティ、こちらは愛嬌あるぼつちやりタイプと違ったところでしょうか。毎日見るなら愛嬌ある方がいいにきまってる、と私も地元びいきです。

誰しも、ふるさとから見えるお山がいちばんなのです。でも、おまえの方は形がいびつだとか、うち以外岩木山とは認めないとか、地元愛が高じるあまり、ひとりよがりな他を非難・攻撃するようになったら困ります。

お山自慢に限らず、いくら地元を自慢してもいい、でも他の自慢に対しても「それもあり」と受け入れる柔らかさがあるべきです。

某大国の大統領がかつて掲げた「〇〇ファースト」も、地元第一主義にかたよるあまり、相当に自己チューで排他的な企てに見えたものです。「〇〇ファースト」は、子どもより大人の方が根強いように思います。極端な深浦本町ファースト、岩崎ファースト、大戸瀬ファーストの考え方に踊らされないよう、陥らないよう、公正な教育行政に努めなければ。年度スタートにあたり、そう思いを新たにしたい次第です。

(教育長 草創 文人)